

6. 個人用学習デザイナー(PLD)

個人用学習デザイナー(PLD)では、カスタマイズ可能な警告や通知を使用して、教員が履修者のパフォーマンスを監視することが可能です。

また、コンテンツのリリースを自動化したり、ナビゲーションをカスタマイズしたりして、個別のユーザのニーズに更に即したコースにすることも可能です。

個人用学習デザイナーは、教員の負担軽減を目的として設計されています。本機能を活用することで、学習活動や成績が芳しくない学生を識別できます。

6.1 個人用学習デザイナーの仕組み

個人用学習デザイナーはルールを使用してコース内の自動イベントをトリガします。ルールを作成することで、手作業を減らし、リスクのある学生に手を差し伸べることができます。たとえば、ルールによって危険水域にある評定を監視し、指定した人物(学生本人や担当教員、保護者など)へ電子メールを送信することができます。また、ルールで活動の完了状況を監視して、学生を奨励することもできます。

各ルールにはイベント、オプションの条件、及び少なくとも1つのアクションがあります。

- イベント: イベントは、ルールをトリガする、またはルールを実行させるものです。
- 条件: 条件は、イベントが発生したときにアクションを伴うかどうかを決定します。条件がなければ、アクションは自動的に発生します。
- アクション: アクションは、正しい条件が満たされたときに発生するものです。

個人用学習デザイナーでは、さまざまなイベント、条件、及びアクションを1つのルール内で組み合わせることができます。

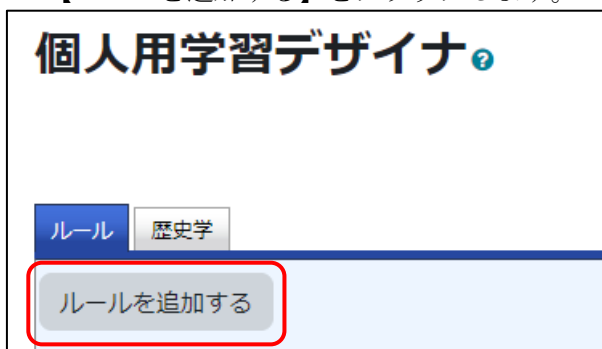
6.2 個人用学習デザイナーのルール作成

個人用学習デザイナーのルールを作成する手順を説明します。

1. 個人用学習デザイナーを設定したいコースを選択し、「OpenLMS」(①)タブの「個人用学習デザイナー」(②)をクリックします。



2. 【ルールを追加する】をクリックします。



3. ルール名を入力します。

ルールを追加する?

ルール名: *

4. 「イベント」からイベントタイプを選択し、【追加】をクリックします。
ルールには複数のイベントを追加できます。

イベント 条件 アクション

イベント

イベントタイプを選択する

このルールにはイベントが定義されていません。少な

イベントには、スケジュール/定期的なイベントと、コ

アクションを定義できます。一部の条件とアクションは、同

5. 「条件」から条件タイプを選択し、【追加】をクリックします。

イベント **条件** アクション

条件タイプを選択する 追加 ?

このルールには条件が定義されていません。イベントの発生

一部の条件の動作は、スケジュール/定期的なイベントと、コ

すべて の条件を満たす必要があります。 ?

6. 「アクション」からアクションタイプを選択し、【追加】をクリックします。
指定されたイベントが発生したときに何が実行されるのかを選択します。

イベント 条件 **アクション**

アクションタイプを選択する 追加 ?

このルールにはアクションが定義されていません。少な

一部のアクションは、ユーザのログインが必要であるため

スケジュールベースで警告を処理することはできません。

7. すべての設定ができれば、【保存する】をクリックします。

保存する キャンセル

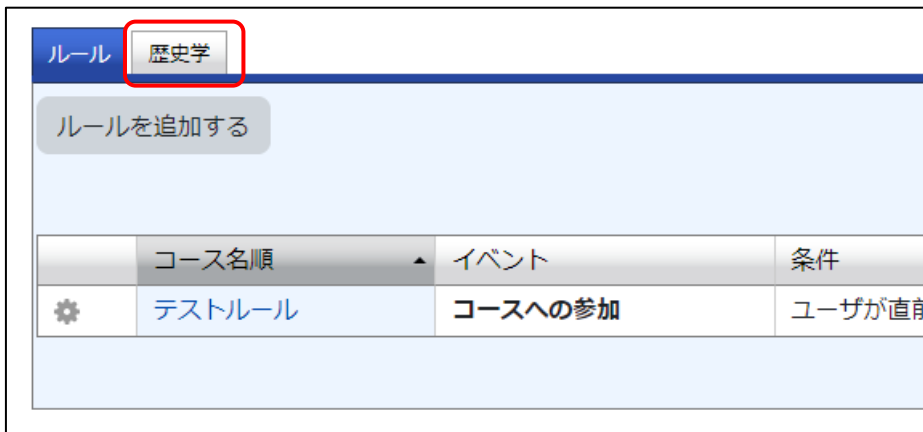
6.3 個人用学習デザイナーの履歴表示

個人用学習デザイナーの履歴を表示する手順を説明します。

設定済みの個人用学習デザイナーはトリガによって自動的に動くので、履歴を確認する必要があります。

1. 個人用学習デザイナーを設定したいコースを選択し、「設定」メニュー内の「個人用学習デザイナー」をクリック後、【歴史学】タブを選択します。

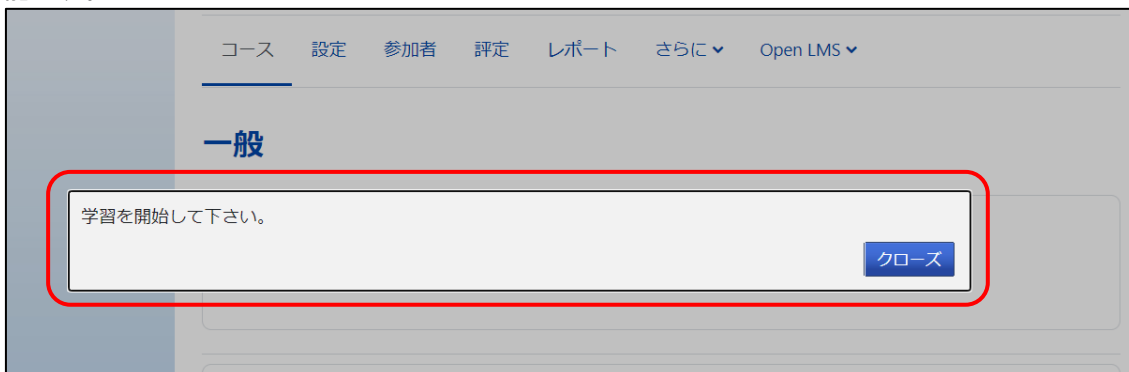
「ルール」、「ユーザ」、「日付」、「実行されたアクション」が表示されます。



【学生画面イメージ例】

(「アクション」で「警告を表示」を選択した場合)

コースを開くと同時に、実行されたアクションが表示されます。警告のテキストは自由に編集可能です。



6.4 個人用学習デザイナ用語と定義

個人用学習デザイナ用語と定義をイベント、条件、アクションの三種類に分けて説明します。

6.4.1 イベント

個人用学習デザイナのルールトリガ項目としてイベントを使用します。1つのルールに1つまたは複数のイベントを指定できます。ルールを有効にするのに、すべてのイベントをトリガするか、任意のイベントをトリガするかを選択できます。

用語	解釈
活動完了	活動が手動または自動で完了としてマークされたときにトリガされます。
活動評定済み	活動が手動または自動で評定されたときにトリガされます。
活動表示済み	活動またはリソースが閲覧されたときにトリガされます。
小テストまたは課題が提出済み	小テストまたは課題が提出されたときにトリガされます。手動で評定される項目を待たずに、新しいコンテンツをリリースする場合によく使用されます。
フォーラムの返信	ユーザがフォーラムのトピックに返信するとき、または別のユーザによるフォーラムのトピックへの返信に対して返信するときに、トリガされます。
フォーラムのトピックの投稿	ユーザがフォーラムにトップレベルのフォーラムトピックを投稿したときにトリガされます。
ユーザのグループへの追加	ユーザがグループに手動で追加された、または PLD の別のルールによって追加されたときにトリガされます。
ユーザのグループからの削除	ユーザがグループから手動で削除された、または PLD の別のルールによって削除されたときにトリガされます。
コースへの参加	ユーザがその日初めてコースに参加するときにトリガされます。コースを退出して他の Open LMS コースまたはページにアクセスすると、トリガがリセットされます。
コース評定の変更	コース内のいずれかの評定でコース評定が変更されたときにトリガされます。
指定の日付と時刻	ルール作成者が指定した日付と時刻にトリガされます。この日付は未来の日付を設定して、その時点での条件を確認することができます。このイベントは、活動によってトリガされることはありません。
定期的なイベント	ルール作成者が指定した未来の日付と時刻にトリガされます。このイベントは、一日の特定の時刻に毎日または毎週発生するようスケジュール設定できます。
コース開始日	コース開始日の指定された日数前または後にトリガされます。
コース終了日	コース終了日の指定された日数前または後にトリガされます。

6.4.2 条件

条件では、ルールをトリガするときの条件を作成します。1つのルールに1つまたは複数の条件を指定できます。ルールを有効にする為に、すべての条件を満たすか、任意の条件を満たすかを選択できます。

用語	解釈
活動表示済み	ルールをトリガしたユーザが活動またはリソースを閲覧したかどうかを確認します。
活動完了	ルールをトリガしたユーザの活動が完了としてマークされているかどうかを確認します。サイトやコースで完了トラッキングが有効になっている必要があります*1。
活動の評定範囲	活動の評定が設定可能な範囲内にあるかどうかを確認します。複数回の提出が許可されている活動の場合、使用される評定は活動の全体的な評定になります。直近の提出とは限りません。
ユーザロールの確認	イベントをトリガしたユーザが、特定のロールのメンバーであるかどうかを確認します。これは、一部のルールが教育者に対してトリガされるのを防ぐのに役立ちます。
グループメンバーシップの確認	ユーザが特定のグループに所属しているかどうかを確認します。
コースの評定範囲	コースの評定が特定の範囲内にあるかどうかを確認します。
コースのログイン	特定の日数内にユーザがコースにログインしたかどうかを確認します。
日付の確認	イベントが指定の日付の前または後に発生したかどうかを確認します。

*1:該当コースを開く→設定を編集する→完了トラッキング→「はい」に設定します。

6.4.3 アクション

学生には個人用学習デザイナーへのアクセス、ルール閲覧権限はありません。

用語	解釈
警告を表示	コースのブラウザ内にメッセージが表示されます。
メールを送信	コースから、電子メールが指定の受信者へ送信されます。
活動に移動	学生はコース内の別のリソースまたは活動に自動的にリダイレクトされます。
URLに移動	学生は指定の URL に自動的にリダイレクトされます。
リリースコードをロック	学生は指定のリリースコードがタグ付けられた特定のコースコンテンツの閲覧権限を失います。
リリースコードをロック解除	学生は指定のリリースコードがタグ付けられた特定のコースコンテンツを閲覧することができます。
ユーザをグループに追加	学生を特定のコースグループに追加することができます。
ユーザをグループから削除	学生を特定のコースグループから削除することができます。